

『一生忘れられない 9 日間』

下吉田中学校 山田 詩乃

私は今回のこの事業で、一生忘れないような素晴らしい体験をたくさんしました。

私が特に印象に残っていることは、オリンピックセンターへ訪れたことです。そこではたくさんのスポーツのトレーニングルームを見学しました。バスケットボールやバレーボールなどの人気のスポーツから、シューティングレンジなどのマイナーなスポーツがありました。ただ技術を磨くだけでなく各部位を鍛える場所、またけがをしている選手が負担をかけずに練習する施設などとたくさんありました。そして見学している最中にもたくさんの有名な選手たちに会いました。目標に向かって頑張る選手たちはとても輝いていました。

他にも「Eagle Middle School」という現地の小学 6 年生から中学 2 年生までが通う学校へ訪れました。日本の学校とは違い、自分で授業を選択してその教室へ行くということに驚きました、私もアメリカの学校へ行ってみたいと思いました。

また、ホストファミリーにもたくさんのなかなか体験できないような場所へ連れて行ってもらいました。ショッピングに野球観戦、ミニゴルフにゴーカート。私は特にゴーカートが楽しかったです。日本で乗るようなゆっくりなものとは違い、普通の車でもおかしくないような速さでした。また、レーサーがつけているような厳重なヘルメットを着けて走りました。しっかりと順位がつけられるようになっており、私は最下位でしたが、本物のレーシングカーに乗れたようで楽しかったです。

野球観戦では、「ROCKY MOUNTAIN VIBES」という地元の野球チームの試合を見に行きました。私は一度も野球の試合を生で見たことがありませんでしたが、たくさんのグッズや食べものなど売っており野球をあまり知らなくても楽しめました。また、一回ごとにゲームや歌を歌う、T シャツが飛んでくるなど観客を楽しませてくれるサービスがたくさんあり楽しかったです。残念ながらこの試合では負けてしまいましたが、とても面白かったです。

ただ、楽しいだけではなくて苦戦した場面も何度かありました。ホストファミリーの話していることが理解できない、自分の伝えたいことがうまく英語にできない、などはじめは会話が成り立ちませんでした。しかし、上手く文にできなくてもジェスチャーや表情、リアクションをすることで徐々に伝わるようになってきました。私の英語が伝わった時は、本当にうれしかったです。また、家では土足や寝るときに掛布団はかけないなど文化の違いもありなかなかありませんでした。ですが、アメリカ人になったようでそれもまた楽しかったです。

コロラドでの最終日。ホストファミリーとの最後の会話をしました。そして二回ハグをしました。とても力強く、泣きそうになりました。5 日間はあっという間でした。もっとたくさん話をしたかったし、もっと一緒にいたかったです。また今度、コロラドへ行き、会いに行きたいです。

私は始め、今回の事業に参加するかずっと悩んでいました。しかし、今では参加してよかったと思います。今回学んだことを将来へ繋げていけるよう、外国のことについてもっと積極的に学んでいきたいと思っています。この 21 人のメンバーで行くことができ、よかったです。